

ジャルダン・ド・コカーニュの紹介

■ジャルダン・ド・コカーニュについて

- フランスで1991年から社会的弱者を雇用し、耕作放棄地を利用した有機農産物の直販を行っている非営利活動法人です。
- 2013年現在、フランス全土**120か所**で展開し、国内360ヘクタールの環境重視型の持続可能な農業を実践しています。
- 約700名の常勤有給スタッフと1,500名のボランティアスタッフ、**25,000世帯の提携家庭**に支えられ、**4,000人が職業訓練、社会復帰**への訓練を受けています。そのうち 46.1%の訓練生は社会復帰に成功しています。

●ジャルダンが掲げる4つの憲章

1. 社会的排除・プレカリティ防止のために価値ある仕事で社会復帰すること
2. 環境に配慮した農業を実践すること
3. 販売は契約している定期購買者向けに行うこと
4. 地域経済の発展に協力していくこと

■ジャルダンで働いている訓練生について

- ジャルダンには様々な人種、年齢、宗教の人たちが働いています。
- 訓練生は、長期失業者、ホームレス、麻薬中毒者、アルコール中毒者、引きこもり、非識字者、刑余者等、社会復帰が困難な人たちです。
- 週26時間農作業を行っており、その労働に対して、国が定める法定最低賃金780ユーロが支給されています。

■ジャルダンで実践しているBio農業について

- フランス農務省の有機栽培に関する認証機関からABマーク(有機農産物認証)の認証を受けています。
- 農薬や化学肥料は使わず、有機肥料(牛ふん堆肥)を施肥しています。
- 高度な技術を有する農業技術者が常駐し、「持続可能な農業」を徹底的に行っています。

■ジャルダンの運営状況

- 運営収入は、3割がジャルダンのBio野菜販売による収入、4割が国からの社会保障費、残りの3割は市役所や、民間企業、個人からの寄付です。
- 運営していくうえで重要なことは、地域住民の理解と自治体・民間企業との連携です。
- ジャルダンの社会的メリットや効果を数値化し、年に1回報告書としてまとめ、民間企業や行政に対し情報公開しています。



●ヘンケル氏と訓練生 ●様々な人種・宗教の人たちが働いています ●ビニールハウス内の様子 ●市場価格を考慮した野菜の価格設定

【主催】仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム実行委員会 【共催】NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず

【協賛】新得町、(公財)日本社会福祉弘済会、NPO法人全国更生保護就労支援会、(公財)はまなす財団、十勝毎日新聞社

【後援】法務省保護局、農林水産省北海道農政事務所、北海道、(社福)北海道社会福祉協議会、ソーシャルファームジャパン、(農組)共働学舎新得農場、NPO法人十勝障がい者支援センター、(更保)日本更生保護協会、認定NPO法人全国就労支援事業者機構、農と更生保護ネットワーク、北海道バイオマスリサーチ(株)、北海道新聞帯広支社

《実行委員会事務局》特定非営利活動法人コミュニティシンクタンクあうるず

〒080-0802 北海道帯広市東2条南4丁目10番地 TEL.0155-67-6305 FAX.0155-67-6307



●平均的なジャルダンの施設内の様子



●ABマーク

●社会的弱者の就労支援を農業とデザインでおこなう仕組み作り●

仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ 就労支援シンポジウム



【日時】2014年6月7日(土) 15:00~18:30

参加登録受付中!

【場所】十勝サホロリゾート(主会場)
*北海道上川郡新得町狩勝高原 Tel.0156-64-7111

【主催】仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ
就労支援シンポジウム実行委員会

【共催】NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず
(公財)日本社会福祉弘済会助成事業

【参加費】3,000円



【併催事業】

●「福祉とオーガニック・薬膳」食事会 ●7日(土)19:30~21:30

●福祉施設の製品見本市 ●7日(土)11:00~8日(日)13:30

●共働学舎トレイルツアー ●8日(日)11:00~14:30

★共働学舎新得農場35周年報告会 ●7日(土)10:30~12:30 *ご希望により参加可能です。

仏ジャルダン・ド・コカーニュに学ぶ就労支援シンポジウム(講演会) *定員:300名

- 2014年6月7日(土)15:00~18:30
- 十勝サホロリゾート・大宴会場「はるにれ」
- 参加費 3,000円

〈基調講演〉 フランスにおける有機農業を活用した社会的弱者雇用への取組

- ジャルダン・ド・コカーニュ創始者 ジャン・ギィ・ヘンケル氏
- 同時通訳 南谷 桂子氏(対話形式)



開催趣旨

フランスで1991年から始まったジャルダン・ド・コカーニュは、既に120カ所所で4,000人の社会的弱者の雇用と、1ha当たりの販売売上が1,000万円にもものぼる有機農業を行っています。

ジャルダンの「耕作放棄地を利用した有機農産物の直販システム」は、政策的にも大きな反響を呼んでいます。昨年は日本から谷垣法務大臣も訪問され、今後の日本の政策にも大きく反映されてくるものと思われます。

ジャルダン・ド・コカーニュを立ち上げたヘンケル氏を招いて、活動の現状や成果、仕組みづくりのコツなどをお話し頂きます。通訳は長年ジャルダンに関わり、精通しているジャーナリストの南谷氏が担当します。

講師紹介



ジャン・ギィ・ヘンケル氏 ジャルダン・ド・コカーニュ代表
仏フランシュ・コンテ大学社会学部卒業。仏フランシュ・コンテ大学で青少年健全育成専門員、ナンシー社会工科大学で社会福祉士の資格取得、ソーシャルワーカーとして活躍。多くの大変貧しく恵まれない人々が公的な社会保障制度から取り残されていると痛感、救済策を模索。スイスには有機農法の野菜を支援者である消費者に販売する協同農園があることを知り、1991年耕作放棄地を有効に活用し、農業をツールに失業者の社会復帰をめざす非営利活動法人ジャルダン・ド・コカーニュをブザンソンで立ち上げ、活動を開始。



炭谷 茂氏 恩賜財団済生会理事長
1946年富山県高岡市生まれ。1969年東京大学法学部卒業後厚生省に入る。2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。現在恩賜財団済生会理事長、日本障害者リハビリテーション協会会長、地球・人間環境フォーラム理事長、等を務める。主な著書に「私の人権行政論」(解放出版社 2007年)、「社会福祉の原理と課題」(社会保険研究所、2004年)



南谷 桂子氏 ジャーナリスト
東京生まれ。1974年渡仏。南仏モンペリエ・ポール・ヴァレリー大学文学部修士課程卒、パリ・オートクチュール組合養成学校卒。「伊藤忠ファッションシステム」パリ駐在員を経て1994年、ワインと文化社をパリに設立。日本と仏の食文化・社会・教員・芸術を見つけてきた経験をもとに執筆活動・講演を行う。2008年にはパリ発祥の市民参加型イベント「隣人祭り」を日本で紹介。新しい価値観の社会を構築しようとする積極的な活動を行っている。日本における「隣人祭り」最高顧問。2009年よりジャルダン・ド・コカーニュの取材を開始。



上野 容子氏 東京家政大学人文学部
教育福祉学科学科長・教授
'71年日本社会事業大学卒業。'98法政大学、立教大学、駒澤大学等で精神保健福祉担当の非常勤講師。2001年東京家政大学精神保健福祉分野を担当。'09豊心会理事長に就任。狭山市、入間市、飯能市の関係団体の理事、監査等の役を担い、精神障害者の地域生活支援事業の発展のために活動。'10農業を活用した再犯防止プロジェクト委員長を務めた。



宮嶋 望氏 農業組合法人 共働学舎 新得農場 代表
1951年、群馬県前橋市生まれ、東京育ち。74年自由学園高等学校卒業。78年ウイコンシン大卒業。78年北海道新得町に入植、共働学舎新得農場開設。有機栽培を始める。'04年第3回山のチーズオリンピック(スイス)で「さくら」が金賞・グランプリ受賞。'07年第5回山のチーズオリンピック(ドイツ)で「さくら」金賞受賞。'08年G8洞爺湖サミットで「さくら」が日本代表に選抜。'10年ワールドチャンピオンズシップチーズコンテストで「ラクレット」が銀賞を受賞。'13北海道初の農林水産大臣賞を受賞。〈著書〉「みんな、神様をつれてやってきた」(地湧社)



宮島 慎吾氏 武蔵野美術大学 造形学部
基礎デザイン学科 教授
1948年東京生まれ。武蔵野美術大基礎デザイン学科卒、GK インダストリアルデザイン研究所入社。1982年スタジオ・スコープ設立。1996年武蔵野美術大造形学部基礎デザイン学科教授、2003年同学科主任教授。2006年現代GPI「いわむろのみらい創生プロジェクト」担当。2007年現代GPIEDS竹プロジェクト」担当。

次 第

- 開会挨拶 シンポジウム実行委員会代表 帯広畜産大学学長 長澤 秀行氏
- 歓迎の挨拶 新得町町長 浜田 正利氏
- フランスにおける有機農業を活用した社会的弱者雇用への取組
ジャルダン・ド・コカーニュ創始者 ジャン・ギィ・ヘンケル氏
同時通訳 南谷 桂子氏(対話形式)
------(休憩 10分)-----
- 日本における社会的弱者雇用(仮) 恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂氏
- 社会的弱者を支えるデザイン(仮) 武蔵野美術大学 教授 宮島 慎吾氏
- 農業を活用した「再犯防止」プロジェクト(仮) 東京家政大学 教授 上野 容子氏
- 共働学舎新得農場の35年間の取組(仮) 共働学舎新得農場 代表 宮嶋 望氏



〈併催事業〉

「福祉とオーガニック・薬膳」食卓会 *定員:150名

- 2014年6月7日(土)19:30~21:30
- 十勝サホロリゾート・大宴会場「はるにれ」
- 参加費 5,000円

社会的弱者が生産した農産物や加工品、共働学舎のナチュラルチーズ、豚肉の他、地元新得産の有機野菜や原木椎茸、鴨肉やキジ肉、エゾシカ、ジャージー牛などを中心としたディナーを提供したいと考えています。

また、全国の福祉施設で製造・販売しているワイン、焼酎や日本酒などの商品も提供します。



●関谷牧場 ジャージー牛のソーセージ ●共働学舎 カマンベールチーズ ●上田精肉店 エゾシカ肉のソテー

〈有機農業で地域を支える農家さんたち〉



共働学舎・新得農場 宇井農場 石橋農園 宮下農場

福祉施設の製品見本市

- 2014年6月7日(土)11:00~15:00/18:30~19:30
- 2014年6月8日(日)08:30~13:30
- 十勝サホロリゾート・中宴会場「きすげ」



●クッキー ●古代米 ●木工品 ●バッグ ●羊毛製品 ●手芸品

障がいのある方や就労の困難な方々が福祉施設や事業所等で心を込めて作り上げた製品(授産製品)の販売促進とPRを図るため「福祉施設見本市」を開催します。

対象は食料品、工芸品などを生産・製造加工している福祉事業所ならどなたでも出展出来ます(出展料は無料)。試食・試飲の提供も出来ます。

あなたの事業所の製品・商品を広くアピールする良い機会です。また販路開拓やパッケージデザインなどについて情報交換出来る貴重な機会です。

- 全国の福祉施設・事業所からの参加をお待ちしています。
- カタログ、パンフレットだけの参加も歓迎します。

共働学舎トレイルツアー *定員:30名/雨天時は内容を変更して開催します。

- 2014年6月8日(日)11:00~14:30
- 参加費 2,000円



●ナチュラルチーズ・熟成庫

35周年をむかえる共働学舎新得農場は、70数名を雇用してナチュラルチーズを生産し、国際的な賞を獲得しています。共働学舎新得農場のチーズ工房、牛舎、農場などを見学した後、傾斜地の放牧場をゆっくり歩いて巡るトレイルツアーです。広い放牧場で草を食む牛たちを眺めながら昼食にします。



●バイオダイナミック農法を実践する農場と働く仲間たち